

2026年3月期 第3四半期
決算説明資料

水をつなぐ
SANEI 株式会社

証券コード：6230

(東京証券取引所 スタンダード市場)

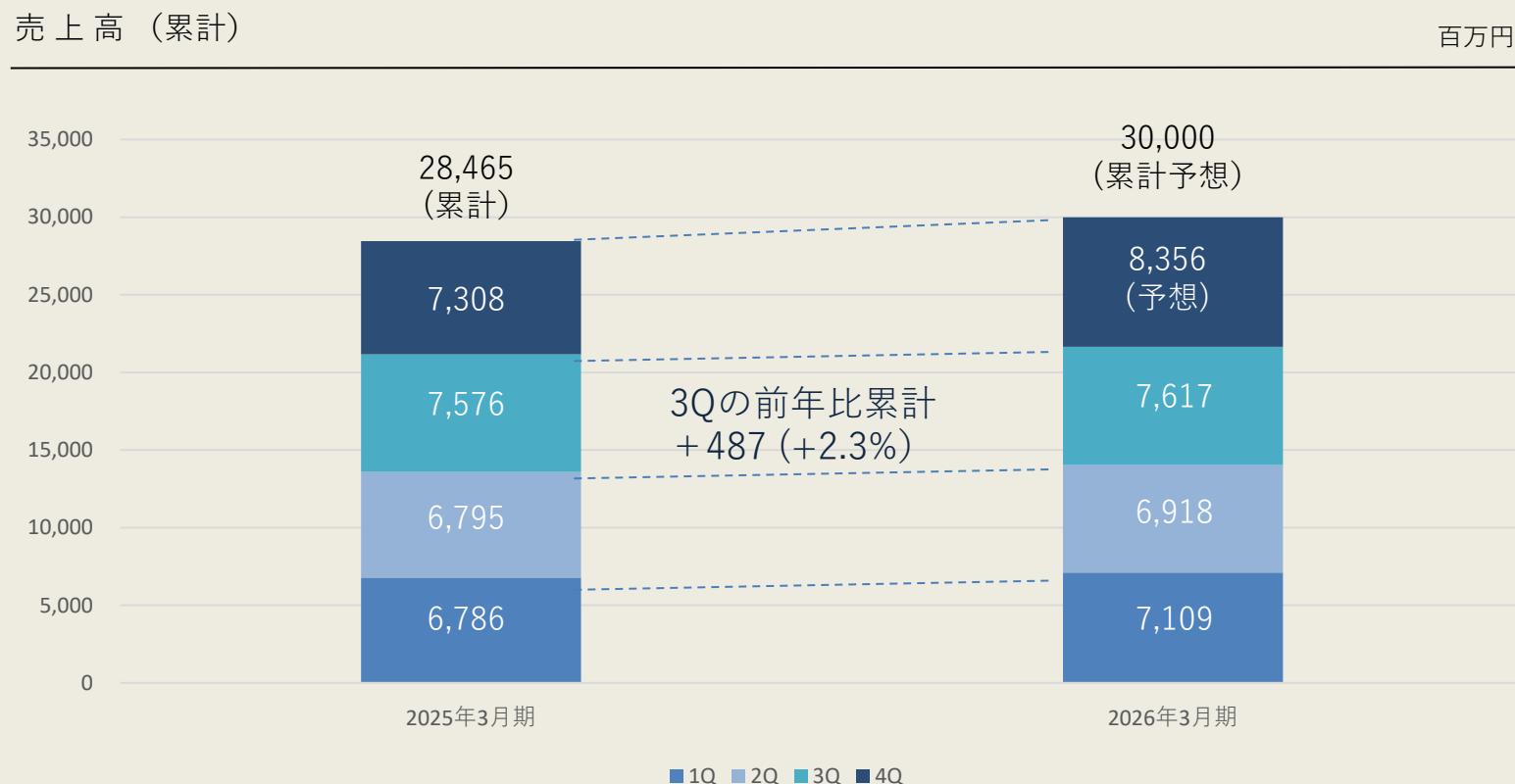


INDEX

1. 業績サマリー
2. TOPICS
3. 今後の取組み
4. ESG活動について
5. 事業概要
6. 企業情報

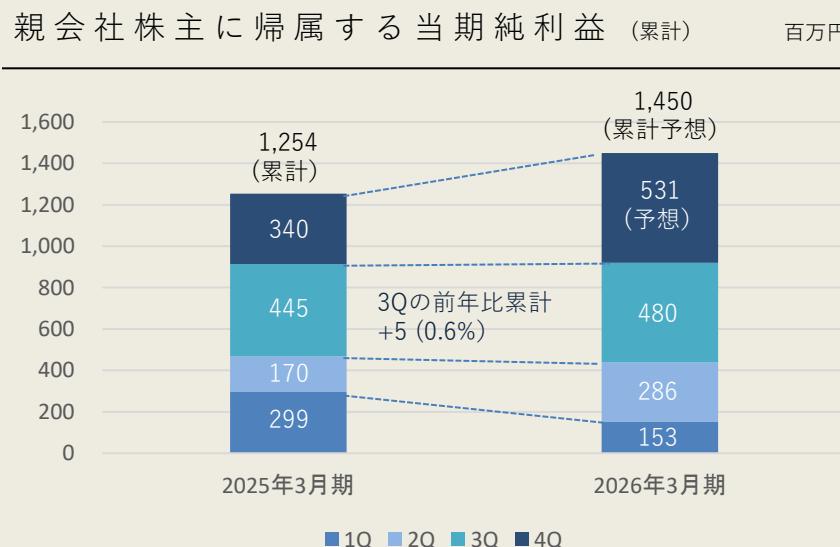
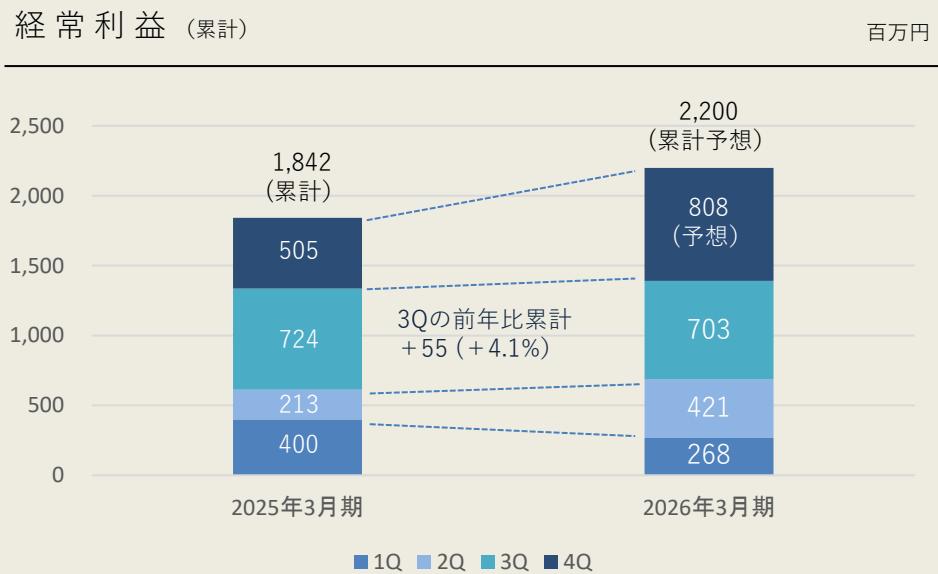
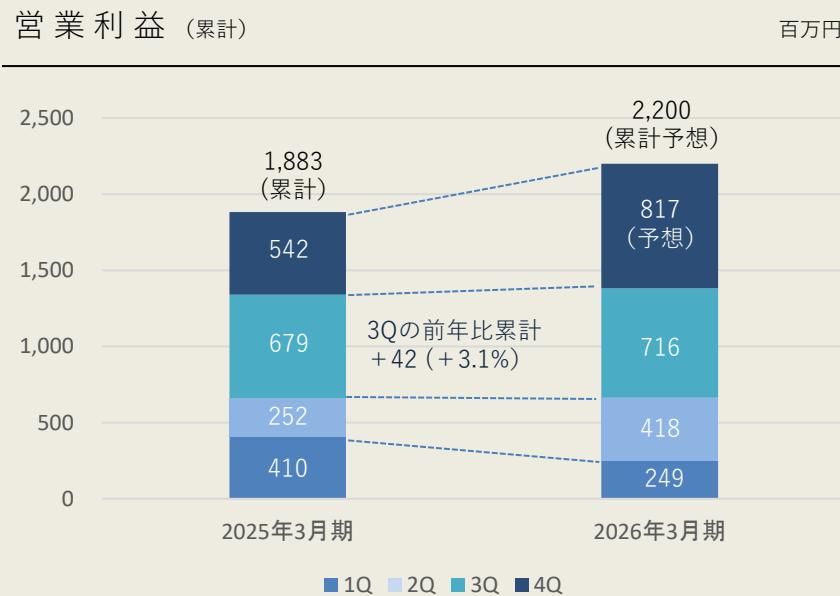


第3四半期は前年比増収



主な増収要因としては、ホテル・飲食店など非住宅分野での需要が高い加飾水栓やデザイン性の優れた高付加価値製品に加え、ウルトラファインバブル関連製品、予洗い水栓プレパシュ +（今期加飾を2機種追加）などの販売拡大が挙げられます。

第3四半期は前年比増益

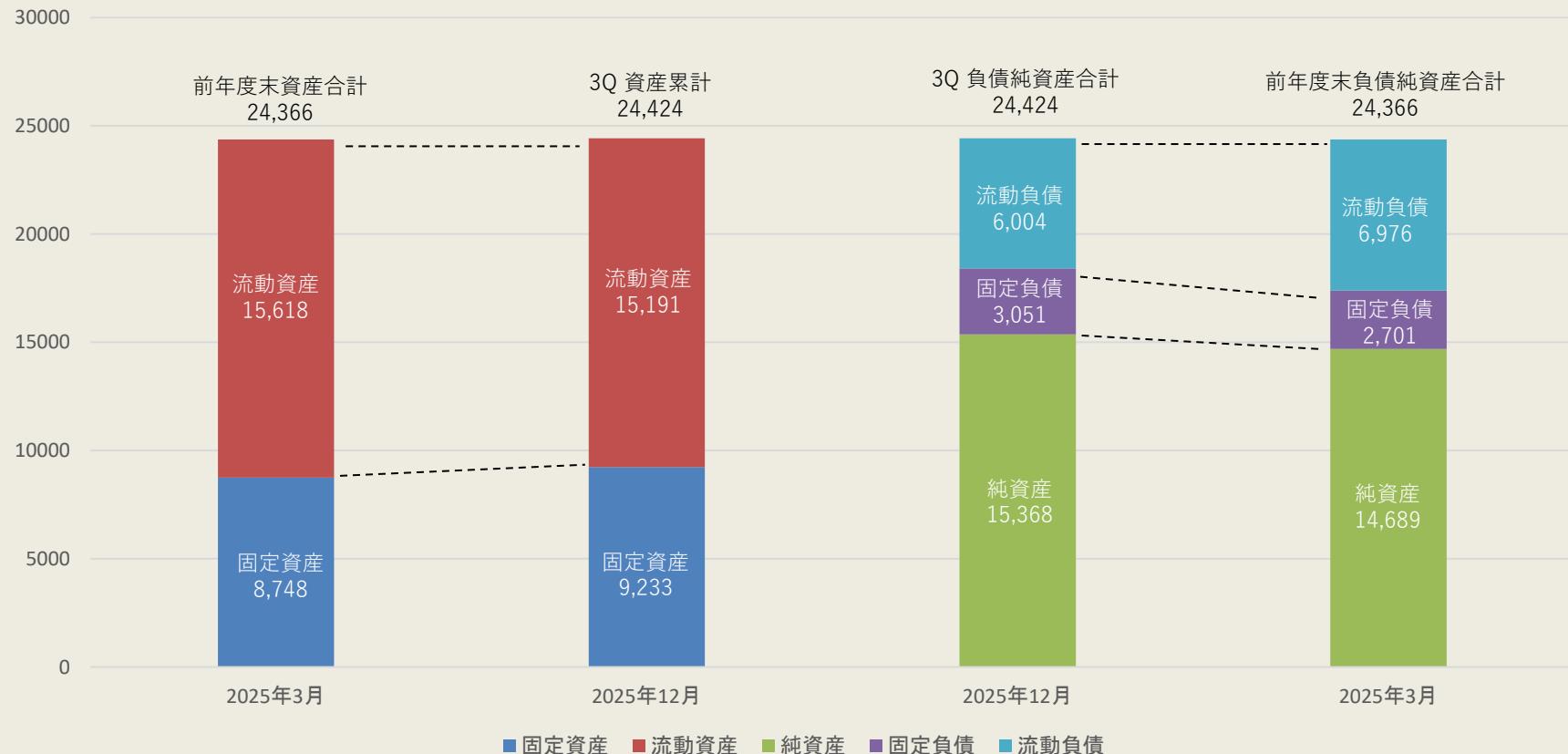


利益に関しては、原材料価格の高騰や万博関連費用などありましたが、高付加価値製品の売上増と価格の見直し効果もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも昨年対比で増益となりました。

貸借対照表（B/S）

貸借対照表（3Q累計）

百万円



当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加し、244億2千4百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ6億7千9百万円増加し、153億6千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は2.4%プラスの60.7%となりました。

JIDAデザインミュージアムセレクション Vol.27を受賞

「sanei」ブランド、SUTTOとYORI SUTTOの洗面用混合栓が
「JIDAデザインミュージアムセレクション Vol.27」を受賞しました。



SUTTO

YORI
SUTTO

JIDA

JIDA（公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会）は、1952年に日本で初めての全国デザイン団体として産業デザイン（インダストリアルデザイン）を振興するために発足された公益社団法人です。JIDAは年に一度、「今残すべき優れたデザイン」として「JIDAデザインミュージアムセレクション」を選定しています。

「DESIGN INSPIRE」に出展

香港で開催された「DESIGN INSPIRE」にJBMAパビリオン（日本企業パビリオン）の1社として参加しました。（2025年12月3日～6日）



開催場所：香港コンベンション&エキシビションセンター (HKCEC)



建築家やデザイナーなど多くの来場者様から、日本ならではの「用の美」である信楽焼洗面ボウルにご好評いただきました。

岐阜新・第2工場竣工

岐阜工場内に新・第2工場棟が完成しました。新・第1工場棟（鋳造～研磨工程を集約した工場）に続く増設で、更なる増産と生産性向上を目的とし、組立の自動化にも取り組みます。

(2025年12月)



敷地面積：	約29,000m ²
建築面積：	約1,900m ²
延べ床面積	約3,000m ²

*2026年2月以降稼働予定

■新工場棟のコンセプト

①環境への配慮（太陽光パネル設置による自家発電や緑地化）

2050年温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目標に活動しており、本工場の太陽光パネル設置による自家発電は、その施策のひとつでもあります。また、工場敷地内の緑地化も計画しております。

②生産力増強・生産効率向上

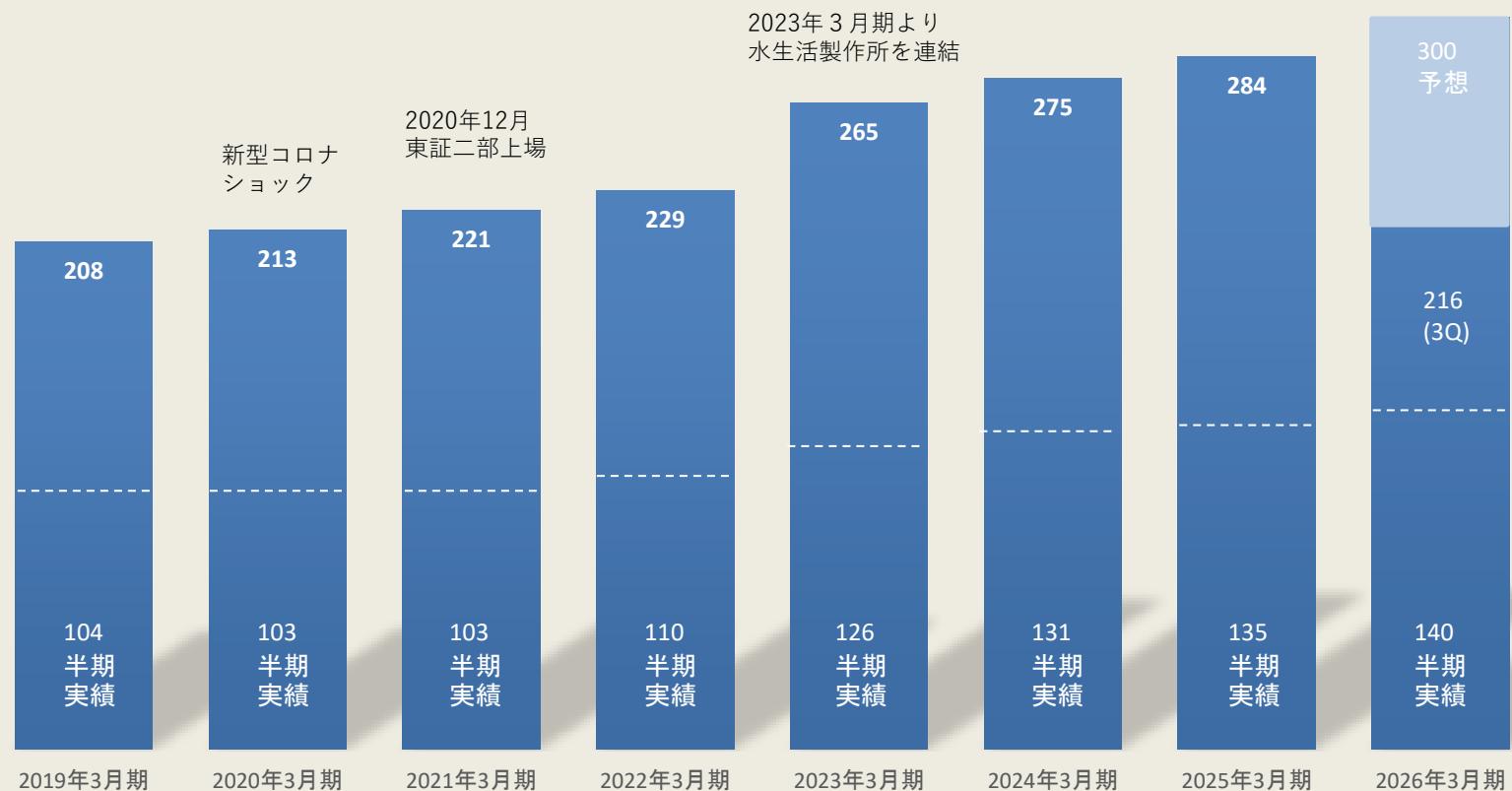
国内市場・海外市場における更なる水栓金具（高付加価値水栓）の需要拡大に対応するよう、水栓の生産力増強と生産効率の向上を図ります。

多くの受注に対し安定的な供給ができるよう既存工場の生産ラインも含めて再構築し、生産活動の高効率化を実現いたします。併せて、自動化設備を多数導入することで省力化を実現。従業員の負荷軽減、品質の均一化（品質向上）も可能となり、当社のマザー工場として生産機能を一層強化します。

着実に成長

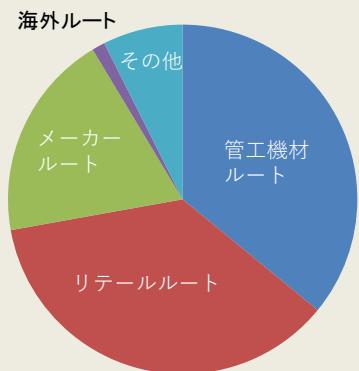
売上推移（連結）

億円



販売ルートと事業展開

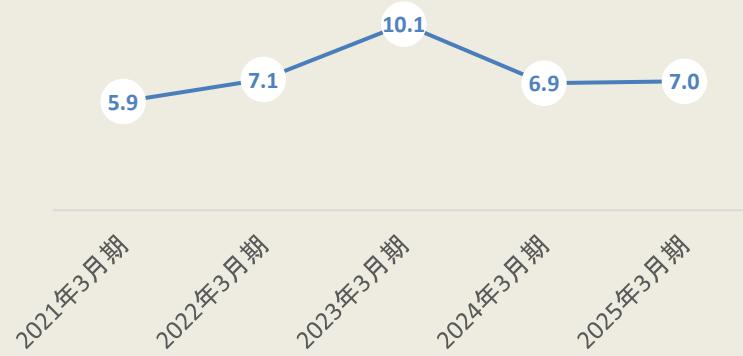
	主な販売先	事業展開
管工機材ルート	商社・卸業者	(1) ホテル・飲食店などの設計会社や施主へ高機能・高付加価値製品の提案 (2) パワービルダー・ハウスメーカー・工務店などへ水まわり空間のトータル提案
リテールルート	量販店 ネット販売業者	(1) ホームセンター向け水まわり製品の企画・開発と販売 (2) 家電量販店、総合スーパーなどへ販路拡大、水まわり・リフォーム製品などの提案 (3) インターネット販売業者などへの販路拡大
メーカールート	住設機器メーカー	(1) 中高級グレード製品の販売強化 (2) バス・洗面・キッチンなど、住宅設備機器メーカーとの協業による水まわり空間の提案
海外ルート	海外市场	(1) 中国・台湾・ベトナムなどアジア諸国への売上拡大 (2) 北米などへの現地代理店との提携強化、新規開拓



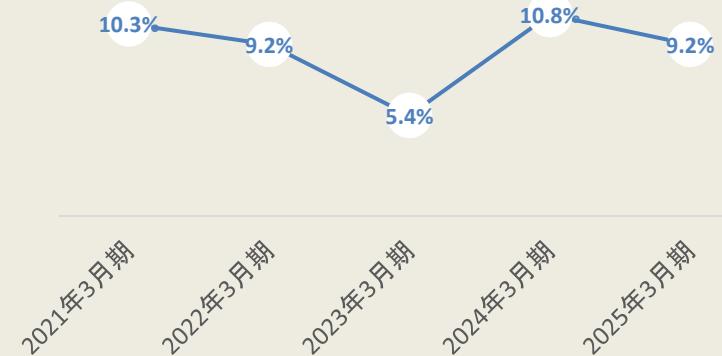
管工機材ルートでは非住宅施設を中心に、高付加価値製品の販売強化をおこないました。
 リテールルートではウルトラファインバブル機能付きの新製品をはじめ、混合栓シリーズ「IENI」の売り上げが好調です。
 メーカールートでは新規企画で多数の採用をいただき、好調を維持しています。
 海外ルートでは多くの国で協力会社や提携会社を通じて新規開拓に取り組んでいます。

継続的な株主価値向上に向けて

PER（株価収益率=株単価÷1株あたりの純利益）倍



ROE（自己資本利益率=純利益÷自己資本）%



PBR（株価純資産倍率=PER×ROE）倍

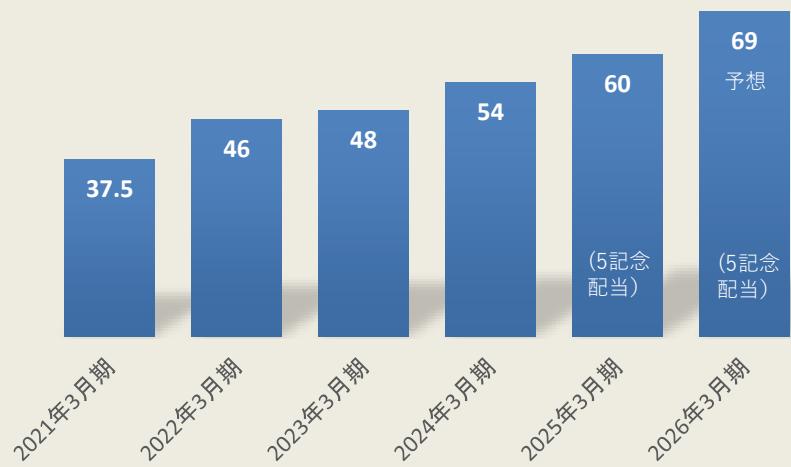


円安と銅価格の急激な高騰が原価を押し上げている状況ですが、高付加価値製品や新製品の販売強化をおこなっています。更なる効率化とコスト削減への取り組み、価格改定などを通じて利益確保に努めます。引き続きPBR1倍以上に向けて取り組んでいきます。

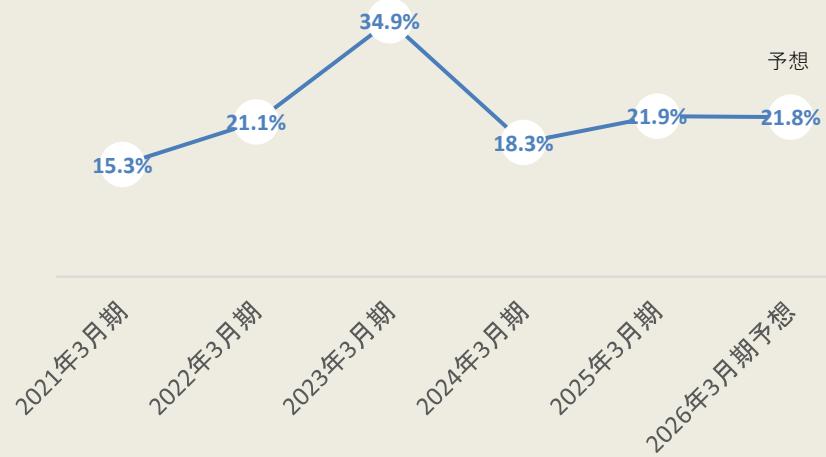
2024年10月1日付で1株につき2株の株式分割を実施しております。
株価及び1株当たりの数値は全て分割後を基準に換算しています。

年間配当金と配当性向

年間配当金（円）



配当性向（1株当たりの配当額 ÷ 1株当たりの当期純利益 × 100）%



当社は2025年12月に上場5周年を迎えました。これも株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝し、上場5周年記念配当を実施します。2026年3月期期末の配当金につきましては、1株当たり普通配当32円（2025年5月2日公表）に記念配当5円を加えた、1株当たり37円に上方修正します。

※当社は、将来にわたり安定的な株主還元を実現するため、「累進配当方針」の導入を、2024年6月25日に公表しました。

2024年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。株価及び1株当たりの数値は全て分割後を基準に換算しています。

SDGs（持続可能な開発目標）

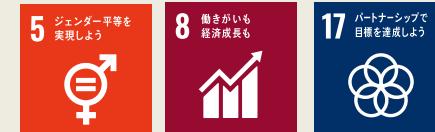
**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

SDGs宣言

SANEIは、1954年の創業以来「人類ある限り水は必要である」を理念とし、地球に生きる一員としての自覚を持ち、企業活動に取り組んできました。私たちは、国連において採択された「持続可能な2030年までの開発目標(SDGs)」を企業行動・経営戦略につなげ、持続可能な社会の実現に貢献いたします。



<https://www.sanei.ltd/company/csr/>



安全で快適な暮らしを提案

- ・健康で安心なニーズに応える提案をする。
- ・安全で誰にでも使いやすい製品を提供する。
- ・快適で豊かな生活に長く使ってもらえる製品を提案する。



非接触で清潔



音声操作で清潔・快適



環境配慮型バルブ設定



天然素材を利用した水栓



障害者雇用の取り組み
実雇用率：3.7%
(2024年6月1日)



大阪・関西万博
ブロンズパートナー
(会場整備参加)

自然エネルギーを有効活用

2050年のCO2排出量実質ゼロに向けて取り組んでいます。



岐阜新・第1工場 定格出力：437.5kW パネル容量：550 W パネル数量：894 枚

岐阜工場では、太陽光発電を利用した高効率インフラ設備などの導入により、CO2排出量を削減し、カーボンニュートラルの達成を目指して、「地球や環境にやさしいモノづくり」の実現に向け、事業活動を推進しています。

Co-Innovation Valleyに参画

岐阜県飛騨市の地域共創を目的とした「Co-Innovation Valley プロジェクト」に参画しています。



2027年開業予定の共創拠点「soranotani」（藤本壯介氏設計）の開発を中心進められており、同拠点には商業施設、温浴施設、子供向け遊び場などが整備され、地域の交流促進と活性化を目指しています。プロジェクトには2026年4月開学予定のコー・イノベーション大学「CoIU：コーアイユー」も含まれており、設立を支援する「飛騨古川駅東開発株式会社」を通じて、教育分野への貢献も行います。当社のコーポレートメッセージでもある「水をつなぐ」の一環として、まちづくり・ひとづくり活動に賛同し、共創拠点での取り組みに対する協力や水まわり製品の提供などを通じて、地域社会とともに進めてまいります。

「寺小屋事業」小学生工場見学会実施

岐阜工場近隣の小学生にものづくり見学会を実施しました。 (2025年8月)



岐阜県各務原市「商工振興課」より案内をいただき、小学生ものづくり見学会を実施しました。見学を通じて、働くことの意義などを考えるきっかけとなり、子どもたちの将来の夢や郷土愛を育む活動となりました。

【参加者】 31名 詳細：小学生25名 + 市職員3名 + 各務原市商工振興課 インターンシップ大学生3名

岐阜県各務原市パークレンジャー活動

航空自衛隊岐阜基地にて「航空祭」が開催され駐車スペースを開放しました。
(2025年10月)



メンバー：社員 10名

当社は、来場者向けの駐車スペースとして当社駐車場を開放しました。駐車場周辺に位置する「空の森運動公園」や「生命の森」は、航空機撮影の人気スポットとなっており、多くの方が訪れました。航空祭終了後にはゴミの散乱が確認されたため、駐車場周辺を含めた清掃活動を行いました。周辺がきれいになり、地域の方々に気持ちよくご利用いただける環境を整えることができました。

地域社会と共に

「障がい者雇用先進事業所見学研修会」を当社岐阜工場にて開催（2025年3月）



「中濃圏域障がい者総合支援推進会議」就労・雇用支援部会「ひまわりの丘障害者就業・生活支援センター」様主催のもと、当社岐阜工場にて「障がい者雇用先進事業所見学研修会」が開催されました。

当研修会は中濃圏域内の企業や関係行政機関、相談支援事業所、特別支援学校等が障がい者雇用に先進的に取り組む企業の実例を学び、雇用促進や理解の向上を図ることを目的としたものです。



当日は企業や商工関係者、就労支援事業所、市町村の担当者様にご来訪いただき、当社の障がい者雇用に関する取り組みについて説明した後、工場内も見学いただきました。職業生活相談員、サポーターを配置し、一人ひとりの障がい特性に応じた適切な職場環境を今後も整備してまいります。

“ミャクミャク”ぬいぐるみを寄付しました

一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟を通じて、ミャクミャクのぬいぐるみを寄付しました。(2026年1月)



当社は大阪・関西万博の会場整備参加企業のブロンズパートナーとして、社名ロゴ入り“ミャクミャク”ぬいぐるみを作成しました。

子供たちが過ごす環境づくりの一助となるようにぬいぐるみを寄付しました。

寄付したぬいぐるみは、同連盟を通じて、大阪市の各施設の子どもたちへ届けられ、後日児童施設の皆さんより御礼状をいただきました。



いただいた感謝状

事業概要

企業情報



「点」としての始まり

1954 - 1980

水は人が生きていく上で欠かすことのできないものであり、現代の日常は水道なしでは成り立ちません。水栓は生活との「接点」、「要」であるとの考えのもと、三栄水栓製作所（現SANEI）は草創期から積極的な商品開発に取り組んできました。

「点」から「線」へ

1980 - 2018

1980年代には水栓のみならず、建物内の給水・排水の環境をトータルにプロデュースできる体制を確立。表からは見えなくても、それぞれが適材適所で使われ、かけがえのない流れを暮らしの中で支えてきました。

「線」から「面」へ

2018 -

2000年代頃から提案の領域は「面」へと広がり、デザイン水栓や、空間・ライフスタイルへの提案が高い評価を獲得。また、持続可能な社会の実現に向けて積極的に責任を果たすべく取り組みを進めています。

SANEI CHRONICLE



1954

若き3名での創業当時20代の西岡明、吉川弘二、橋本健一の3名により創業。「三栄」の社名の由来となりました。



1967

日本初のシャワー付湯水混合水栓。国内の各世帯に内風呂が普及していく中で時代に先駆けたヒット商品となりました。



1980

水栓から配管までトータルに提供。幅広い商品展開と全国規模の販売ネットワークで、水まわり用品の総合メーカーへと発展しました。



2018

toccata が JIDAデザインミュージアムセレクションの選定商品に認定



2018

SANEI 株式会社へ社名変更。水栓にとどまらない広がりを持たせた社名は、海外での名称との統一を図ったものもあります。

HISTORY since 1954

次なる景色への飛翔 物語は続いていく

SANEI CHRONICLE



2020

東京証券取引所市場第二部に上場
2020年12月、東証2部(現スタンダード市場)に上場いたしました。



2024

「soroe」が「reddot」の「best of the best」と「iF」デザインアワードを受賞。



reddot winner 2024
best of the best



2024

新・第1工場を竣工
岐阜に新・第1工場を建設。
同時に社員食堂を新設しました。



2025

「Grazioso」が「reddot」の「best of the best」と「iF」デザインアワードを受賞。
「grooglo」も「iF」デザインアワードを受賞しました。



reddot winner 2025
best of the best



2025

新・第2工場を竣工
更なる生産性向上のため、
岐阜に新・第2工場を建設。
2026年2月以降稼働開始予定。



SANEI

V E R S E

LUXURY

grooglo

Grazioso

sanei

DESIGNER COLLABORATION

soroe cye

YORI
SUTTO SUTTO



Kiwitap



EDDIES MONOTON

morfa ROFFINÉ

sanei

STANDARD

IENI ordina+

toccata AQUVOI+

いちりん column

Etc.

W A T T E A

KITCHEN & BASIN

FLUSSO

BATHROOM

Grazioso



reddot winner 2025
best of the best

grooglo



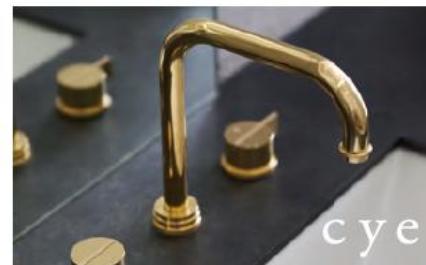
SANEI DESIGN COLLECTION

十人十色のライフスタイルに寄り添う

DESIGNER COLLABORATION



 Designed by
nendo



 Designed by
SUPPOSE DESIGN
OFFICE



 Designed by
鈴木エドワード EDWARD SUZUKI
1947-2019

WAILEA DESIGN



 Designed by
WAILEA DESIGN



 Designed by
森田恭通 YASUMICHI MORITA



 Designed by
喜多俊之 TOSHIYUKI KITA



 Designed by
岩倉栄利 EIRI IWAKURA 1948-2019



 Designed by
WAILEA DESIGN



<https://www.sanei.ltd/design/>

主な取扱製品

水栓



キッチン用

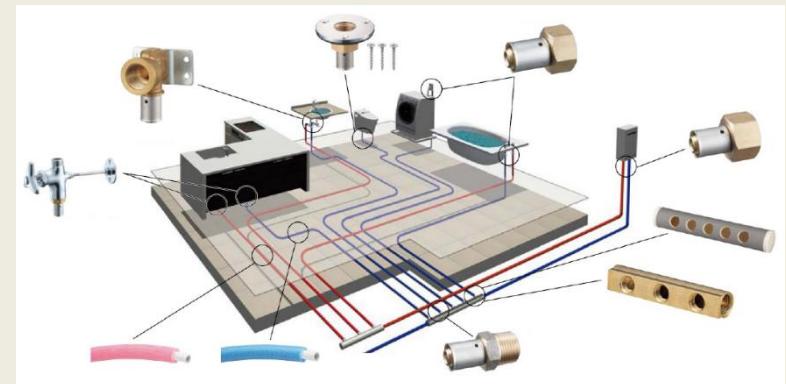


バスルーム用



洗面用

継手および配管部材



アルミ複合三層管“アルミックス”

プレパシュ +



予洗い水栓

シャワー用品



ファインバブル機能付

洗面ボウル



信楽焼“利楽”

雨水利用システム



トイレ用品



SHOWROOMS



WAILEA 御堂筋 WAILEA Midouji

WAILEA

御堂筋ショールーム

<https://www.wailea-club.com/>

FLUSSO

青山ショールーム

<https://www.flusso.design/>

社是

「人類ある限り水は必要である」との理念のもと
人間の乾きを潤す水まわりを中心に
生活の泉、憩の泉の想像を実現する事で
社会に貢献し会社繁栄と全社員の幸福の源とする

SANEIは、1954年の創業以来、「人類ある限り水は必要である」という理念のもと、地球に生きる一員としての責任を自覚し、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を推進してまいりました。

独自の技術力と柔軟な感性を活かし、数々の画期的な製品を市場に提供するとともに、水まわりから暮らしの快適性を追求し、空間全体のトータルコーディネートにも取り組んでいます。

私たちは、常に変化する環境や多様化する社会ニーズを的確に捉えながら、今なお進化を続けています。

社 名 SANEI 株式会社

事 業 内 容 給水栓・給排水金具・継手および配管部材の製造・販売

創 業 1954年（昭和29年）9月

代 表 者 代表取締役社長 西岡 利明

本 社 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

資 本 金 432百万円 ※2025年3月末時点

連 結 業 績 売上高：28,465百万円 経常利益：1,842百万円
※2025年3月期

従 業 員 連結： 845名 単体： 642名
※2025年3月末時点

株式会社アクアエンジニアリング
グループ会社 大連三栄水栓有限公司
株式会社水生活製作所

水をつなぐ
SANEI 株式会社



本資料に関するお問合せ
当社ホームページ <https://www.sanei.ltd/>
メール : ir-sanei@sanei.ltd
お電話 : (06) 6972-5955
担当 : SANEI 株式会社 IR課
Copyright © SANEI LTD. All Right Reserved

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。